

そよかぜ通信

第226号

発行

2019年4月

社会福祉法人 調布市社会福祉事業団
知的障害者援護施設そよかぜ 施設通信
〒182-0032 調布市西町290-4

TEL 042-481-7663

FAX 042-481-7074

URL <http://www.jigyodan-chofu.com/soyokaze/>



ホームページではカラーで掲載しております。是非ご覧下さい。

Tさんまた会う日まで

一昨年から水曜日と木曜日に通所されていたTさんが退所されることになりました。高校卒業後の通所開始当時から元気いっぱいにご過ごしてましたね(-_-)☆次の作業所に行ってもまたそよかぜに遊びに来てくださいね!!



平成最後のお疲れさまパーティーを開催

今年度最後の水曜クラブは一年の労をねぎらいみんなで、平成最後のお疲れさまパーティーをしました！前半は買い物班、調理班、飾り付け班に分かれパーティーの準備をし、後半はいよいよお待ちかねのパーティーです♪飾り付け班の作ったランチョンマットの上には、調理班・総料理長の朽木職員監修のブッシュ・ド・ノエルと買い物班が用意したジュースが共に並びます。チョコ仕立てのホイップがとても好評でした！今年度もお疲れさまでした。



職員リレーコラム♪明日は明日の風が吹く?!

「イチロー選手ありがとう」 清水貴子

そよかぜ周辺の桜も見頃を迎え、桜の花道をお散歩するのがワクワクしてる今日この頃です。さて、先日、シアトルマリナーズのイチロー選手がプロ野球選手として第一線を引退する事となりました。プロ野球選手となった1992年からの28年間、沢山の記録を塗り替えてきました。誰より何倍も練習して、何倍も努力して、選ばれし者しか味わえない時間があったからこそ、大スターに登り詰めていかれたのだと思います。私はイチロー選手の『背面キャッチ』が大好きです。私は、ソフトボールをやっており、自主トレでやってみましたが、上手く出来ず…。近い将来の目標として練習したいと思っています。また、私には二人の娘がいます。長女は、お洋服屋さんでカリスマ店員を目標に。次女は、女子サッカー「なでしこジャパン」のメンバー入りを夢見ています。イチロー選手の引退会見を見ながら、娘達も納得いくまで成し遂げてほしい…。母は思いました。28年間、沢山の勇気と希望と夢…。沢山のナイスプレーをありがとうございました！これからの野球人生にもエールを送りたいと思います。イチロー選手万歳！！(イチ・ファンより)

萩森先生、8年間 ありがとうございました

8年間月曜日と木曜日のそよかぜの音楽療法を担当された萩森先生がそよかぜを卒業されることになりました。4月からは新しい先生に引き継がれます。

そよかぜのみなさんとは震災の年に出会い、今まで8年間という長い時間を共に過ごしてきました。そよかぜのメンバーは、一人一人が個性的なリズムやテンポ、美的感覚をお持ちで、一緒に音楽をする者として刺激の多いクリエイティブな時間を過ごす事ができました。一人一人の表現を尊重しながら集団音楽として調和するというのは音楽の醍醐味でもあります。そよかぜで鳴る音楽はとても本能的で、言葉では表しきれない想いが詰まったような、そんな素敵な音楽であったと感じます。このような時間を過ごせてくれたことに、今まで活動を支えて下さったみなさまに感謝致します。本当にありがとうございました。(萩森)



そよかぜとはこんなところ

そよかぜは、知的に障がいのある18才以上の方が自宅やグループホームから平日の日中に通所し、午前には織物、陶芸等の作業、午後は運動や学習、クラブ活動などの各種の活動をして、地域で地域の社会資源を使いながら生活を送る為の通所施設です。

人事院より感謝状をいただきました

毎年夏になると国家公務員になりたての若者が初任行政研修の一環でそよかぜで施設体験研修を行っています。研修に来た若者の中には最終日涙が溢れる人、その後もボランティアに来てくれた人、年賀状をくれる人など、印象深い研修生がたくさんいました。そよかぜは研修受け入れ10年ということで、人事院公務員研修所より感謝状が贈られました。3月の本人会ではそよかぜメンバーで感謝状を読み上げて、授与式を行いました。



織物班の新しい挑戦!

織物班の織機は開設当初に導入したフィンランド織機を中心に作業を行っています。しかし、フィンランド織機は壊れてしまうと修理するのが大変です！事業団内の腕の良い修理部隊総出で修理を行います。しかしパーツ交換となると、フィンランドから取り寄せることに…。取り寄せまでに2か月以上かかることもあります。日本の織機にも挑戦したい！ということをあちらこちらで呟いていたところ、2年前には武蔵野の施設から廃棄になる「さりを織」を3台寄付していただきました。そして先日、お隣の特別支援学校からも廃棄処分になる織機を5台寄付していただきました！フィンランド織機も大切に使いながら、新たな織機も練習して行こう！織物班メンバーで新たな挑戦が始まります！

